

新日鐵化学の事業展開について

新日鐵化学株式会社
2004年9月10日

〈 本日の内容 〉

- I . 新日鐵化学 財務の概況
- II . 新日鐵化学 事業の概況
- III . 「グランドデザイン」について

代表取締役CEO 西 恒美

I . 新日鐵化学 財務の概況

2004年度見通し

- ・原料価格が大幅に上昇するも、堅調な製品市況、CCLの販売数量増により、対前年同期比増益見込み。
- ・2004年度に連結中計の2005年度目標(経常利益、有利子負債残高)を1年前倒しで達成見込み。

〈中間期見通し〉

(単位:億円)

	03中間期 A	04中間期見通し B	増減 B－A
売上高	1,088	1,230	○142
営業利益	58	87	○ 29
経常利益	36	75	○ 39

〈年度見通し〉

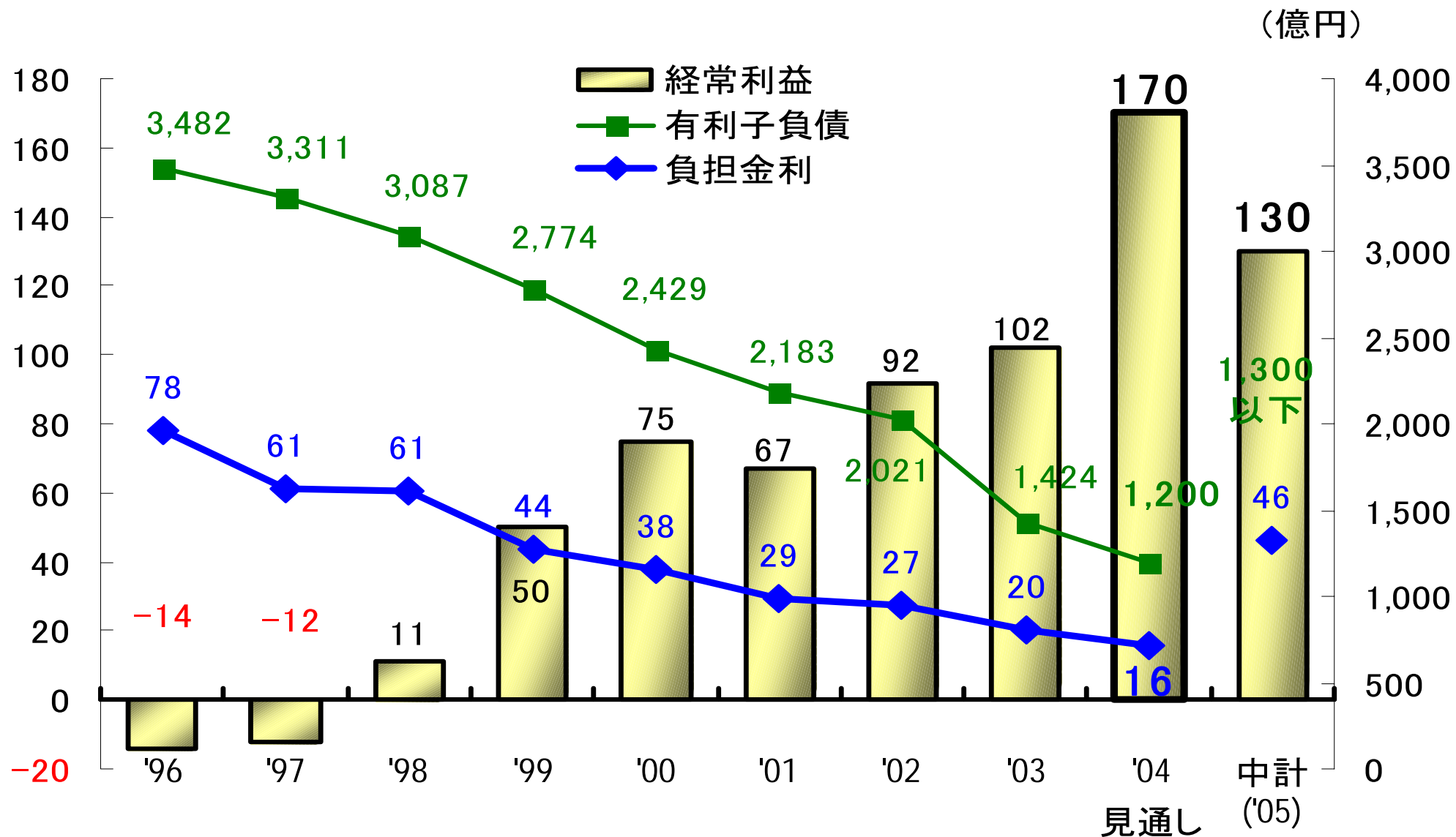
	03年度 A	04年度見通し B	増減 B－A
売上高	2,220	2,550	○330
営業利益	137	192	○ 55
経常利益	102	170	○ 68
有利子負債	1,424	1,200	

中計 05年度
2,000

130

1,300以下

経常利益、負担金利、連結有利子負債推移



2003年度における経営基盤強化策の概要

① 経営基盤強化策

ア. 02年度決算

「経常利益92億円、低収益事業整理他で▲385億円特損計上、▲287億円の連結債務超過」

イ. 03年7月財務対策

- ・東証上場廃止、株式交換により新日鐵の完全子会社化。
- ・新日鐵引受けによる350億円増資。
- ・単独累損に見合う627億円の減資。単独累損解消。(資本金50億円,資本準備金83億円)

② 新日鐵と一体となった経営体制の構築

ア. 新日鐵の研究開発資源の戦略的活用の強化

イ. 意思決定の迅速化(機動的な株主総会の開催等)

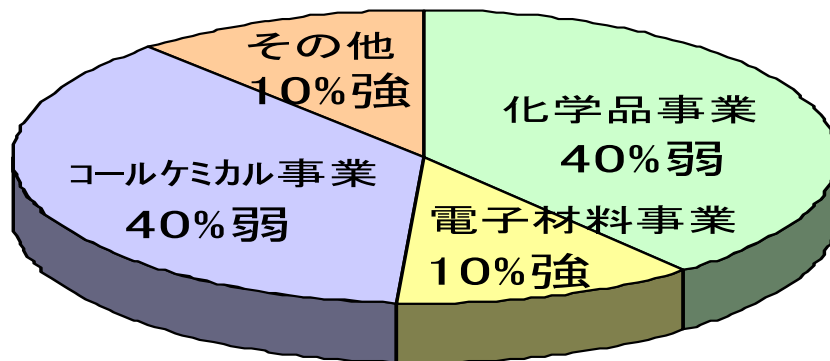
ウ. 新日化経営機構の簡素化(取締役会のスリム化等)

Ⅱ．新日鐵化学 事業の概況

新日鐵化学 事業ドメイン

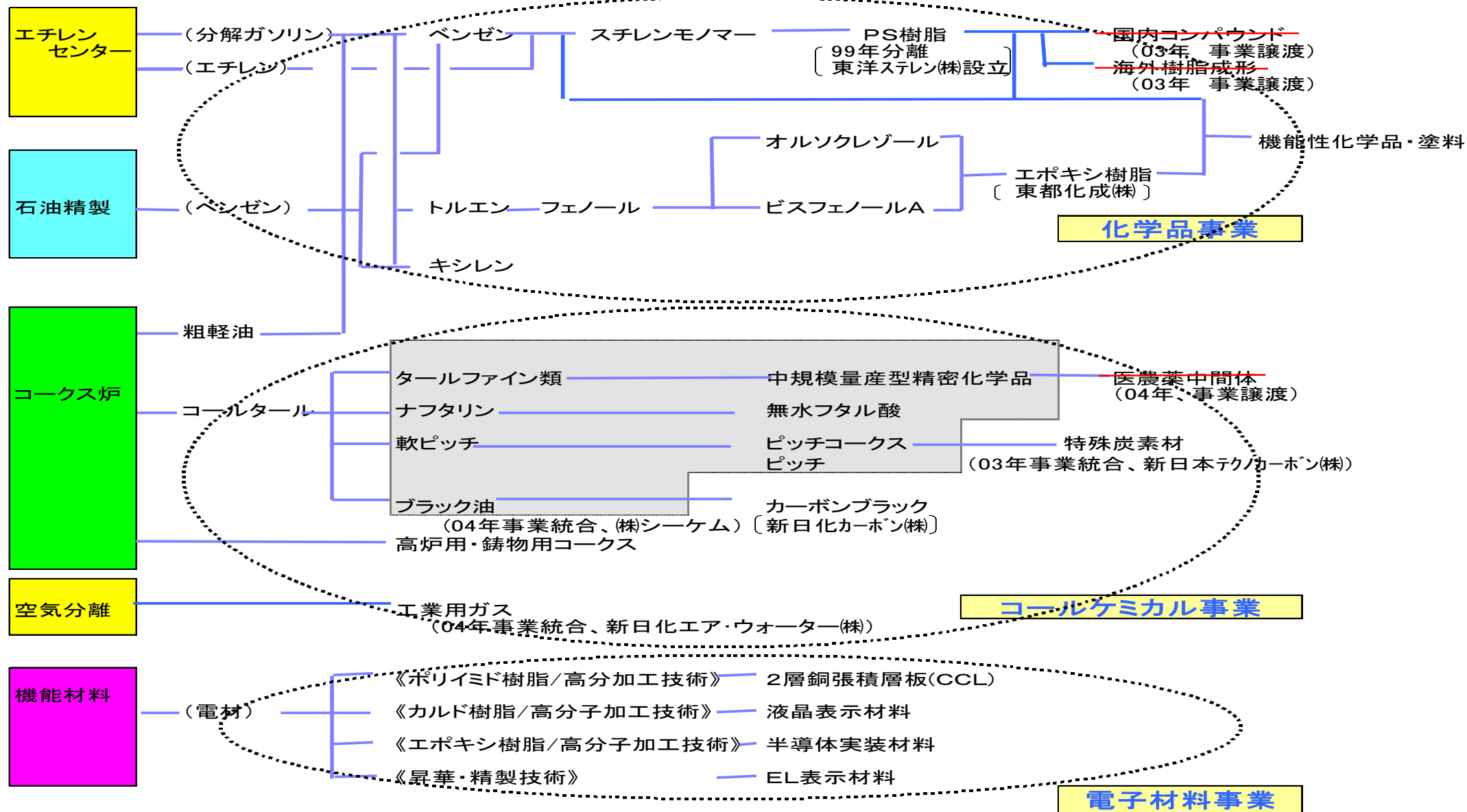
- | | |
|---------------|---|
| (1) コールケミカル事業 | 鉄鋼プロセスで発生する原料ソースを活用
…タール事業、ガス事業、コークス事業 |
| (2) 化学品事業 | 石炭系を基礎に石油系へ展開
…基礎化学品(BTX、SM、PH・BPA)、機能性化学品(MS樹脂、エポキシ樹脂他)、塗料 |
| (3) 電子材料事業 | 芳香族化学に根差した高度な機能化学材料を活用
…プリント回路基板材料(CCL)事業、液晶ディスプレイ(LCD)関連材料事業、有機EL材料事業、半導体実装関連材料事業 |

事業別連結売上高(2004年度見通し) 2,550億円程度



事業別営業利益構成	
化学品事業	1/3強
電子材料事業	1/3
コールケミカル事業	1/3

事業ポートフォリオ(原料から製品までの流れに沿った分類)



「選択と集中」への取組み状況(2000年以降)

事業提携強化

時 期	案 件	事業内容
2000年 7月	錦湖P&B化学(株)	韓国におけるビスフェノールA JV(当社49%、錦湖Gr51%)
9月	日本ロックウール(株)	ロックウール共同販売会社(当社80%、住金20%)
2002年 1月	新日本テクノカーボン(株)	特殊炭素材事業JV(当社50%、日本カーボン50%)
2004年 7月	新日化エア・ウォーター(株)	ガス事業JV(当社35%、エア・ウォーター65%)
10月	(株)シーケム	タール事業JV(当社65%、エア・ウォーター・ケミカル35%)

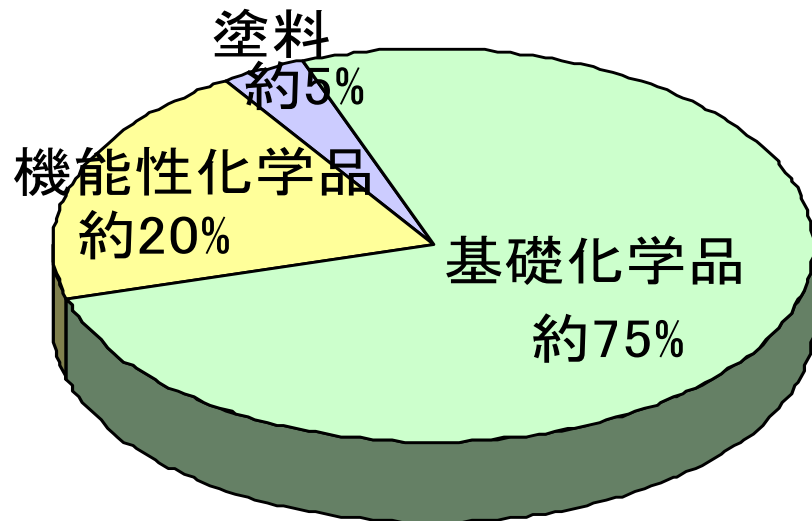
事業譲渡等

時 期	案 件	事業内 容
2000年 7月	サーモフィル,INC.売却	海外PP系コンパウンド事業
2003年 4月	ニットーライト(株)営業譲渡	国内PS系樹脂成形事業
6月	日本エレクトロニクスGr営業譲渡	国内リジッド配線基板事業
11月	新日化ポリマー(株)コンパウンド営業譲渡	国内PS系コンパウンド事業
2004年 1月	大連日東塑料加工有限公司売却	海外PS系樹脂成形事業
3月	深せん美陽注塑有限公司売却	海外PS系樹脂成形事業
6月	新日化ポリマー(株)包材営業譲渡	国内PS系包材事業
6月	南部化成(株)株式譲渡	国内PS系樹脂成形事業
7月	タールファイン営業譲渡	医農薬中間体事業他

化学品事業の概要

化学品事業 連結売上高構成(2004年度見通し)

1,000億円程度

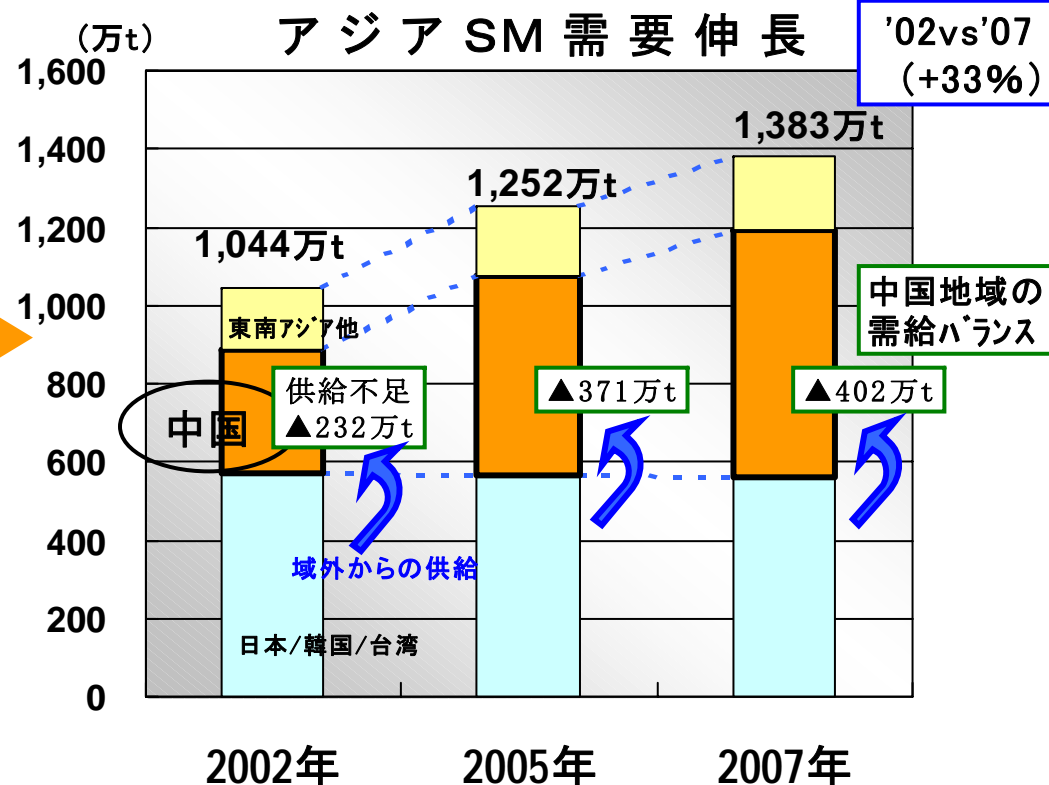
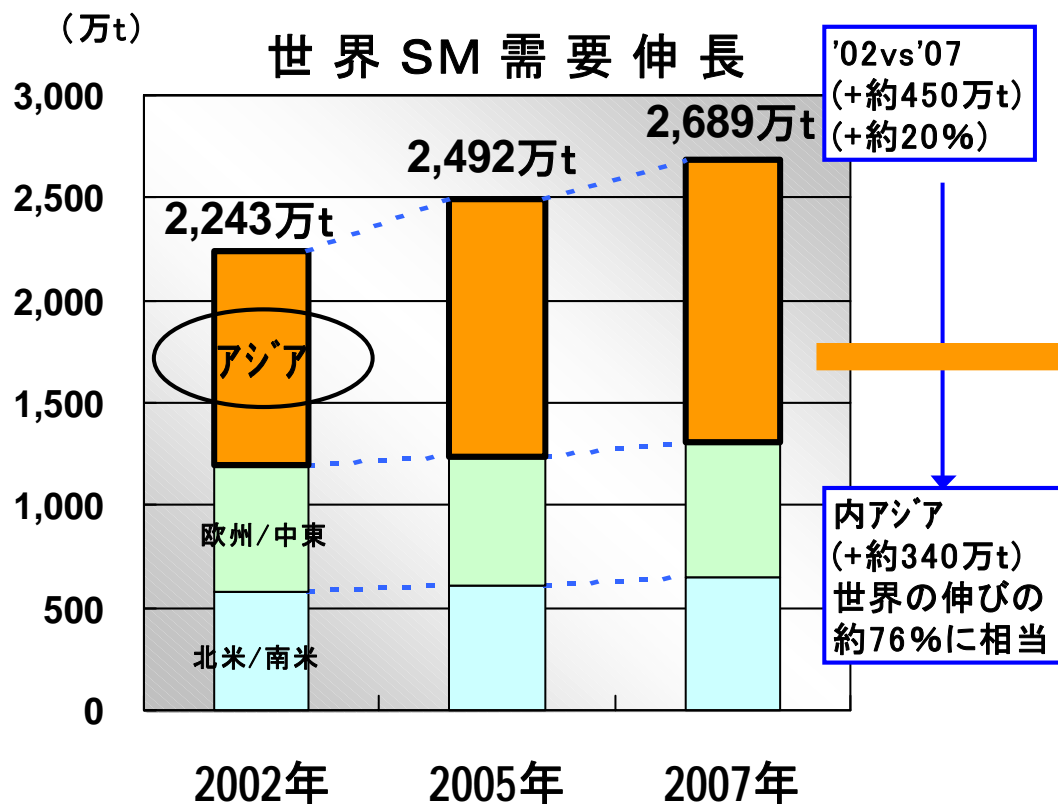
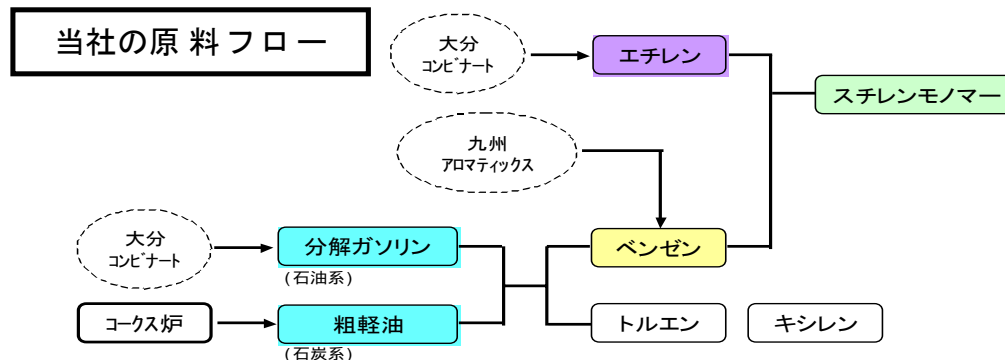


部門	主要製品	特 徴
基礎化学品	ベンゼン、トルエン、キシレン スチレンモノマー、シクロヘキサン フェノール、ビスフェノールA、オルソクレゾール	コークス炉粗軽油・コンビナート分解ガソリンを原料 ベンゼン系誘導品 トルエン系誘導品
機能性化学品	MS樹脂 エポキシ樹脂 特殊溶剤、機能性樹脂原料、熱媒体類	光学用途PS樹脂、映像家電用途 電子材料分野向け 脱芳香族溶剤・イオン交換樹脂用
塗 料	タールエポキシ樹脂塗料 変性エポキシ樹脂塗料	防錆力に優れた船舶、水道、鋼構造物用重防食塗料
	無機塗料	1液・無溶剤・常温硬化(現在、拡販中)

SM(スチレンモノマー)事業の概要と需要予測

SMの概要

- ・構造: ベンゼンとエチレンを合成
- ・生産量: 全世界 約2,300万t/年、日本約 300万t/年
(国内約200万t、輸出約100万t)
- ・用途: ポリスチレン(電機、玩具、日用品)、発泡ポリスチレン(土木)、ABS、合成ゴム等の誘導品



(出典; 日本スチレン工業会)

(出典; 日本スチレン工業会)

SM市況、原料価格の推移



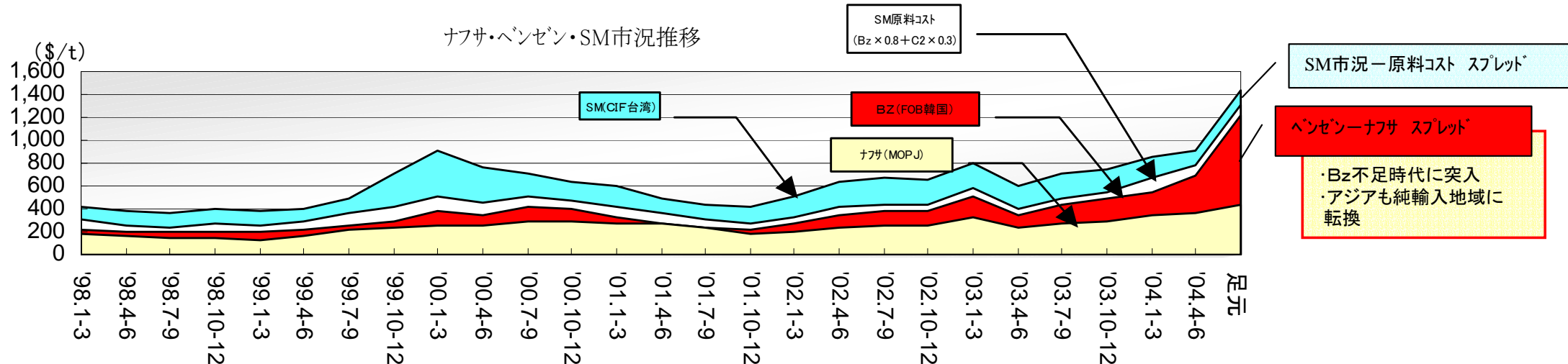
(万t/年)

SMの国内競合他社	生産能力 (公称ベース)
旭化成ケミカルズ	79
出光石油化学	55
住友化学工業	51
電気化学工業	40
三菱化学	37
新日鐵化学	34
太陽石油化学	30
東ソー	8
合計	334

シェア約10%

当社SMの競争力のポイント

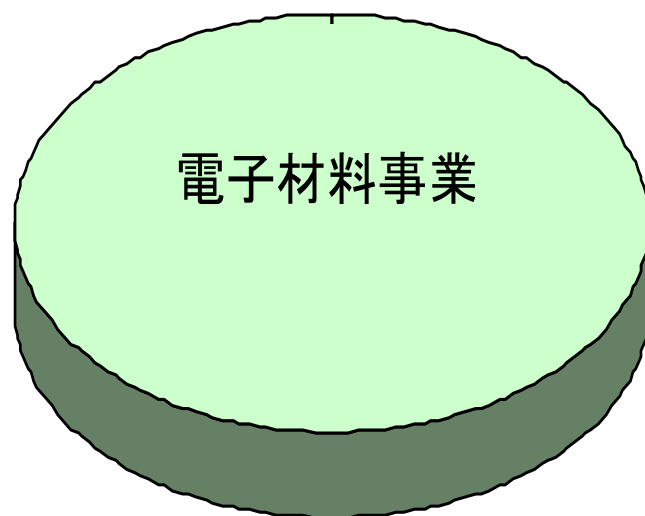
- ・生産効率、安定操業実績
- ・需要の中心である中国への有利なアクセス
- ・原料(ベンゼン、エチレン)の安定的かつ効率的な調達



電子材料事業の概要

電子材料事業 連結売上高構成(2004年度見通し)

300億円程度



拡販推進中及び開発中の材料

- ・半導体実装材料
- ・ガラス代替表示材料

携帯電話



PC&ノートPC



回路基板材料

液晶表示材料

有機EL材料



PDA



カーナビ&テレマティクス

液晶表示材料

液晶ディスプレイ

当社が扱う製品

ブラックマトリクス

画素(RGBインキ)

偏光板

ガラス代替表示材料
(プラスチック基板)

透明電極

保護膜

配向膜

液晶

絶縁膜

薄膜トランジスタ(TFT)

偏光板

ガラス代替表示材料
(プラスチック基板)

液晶ガラス基板の大型化に伴い、当社のディスプレイ材料は、ブラックマトリクスを中心に飛躍的な拡大が見込まれる。

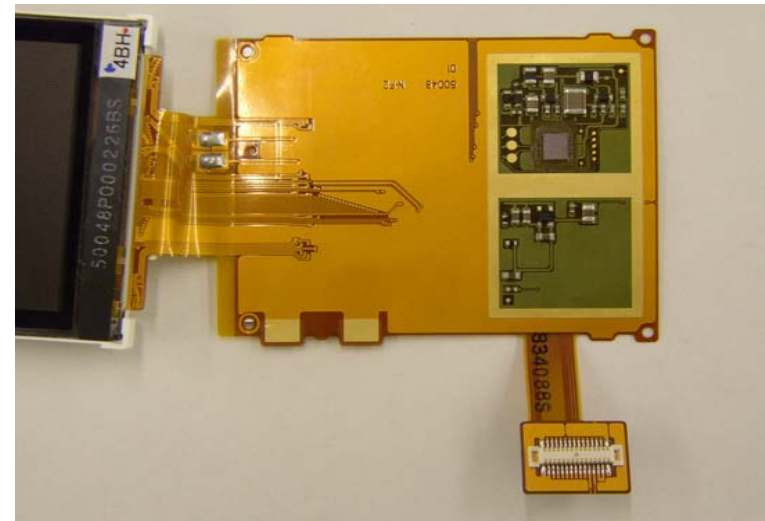
回路基板材料(エスパネックス/2層CCL)



無接着剤FPC用ホリミット
銅張積層板(2層CCL)

CCL

Copper **C**lad **L**aminate

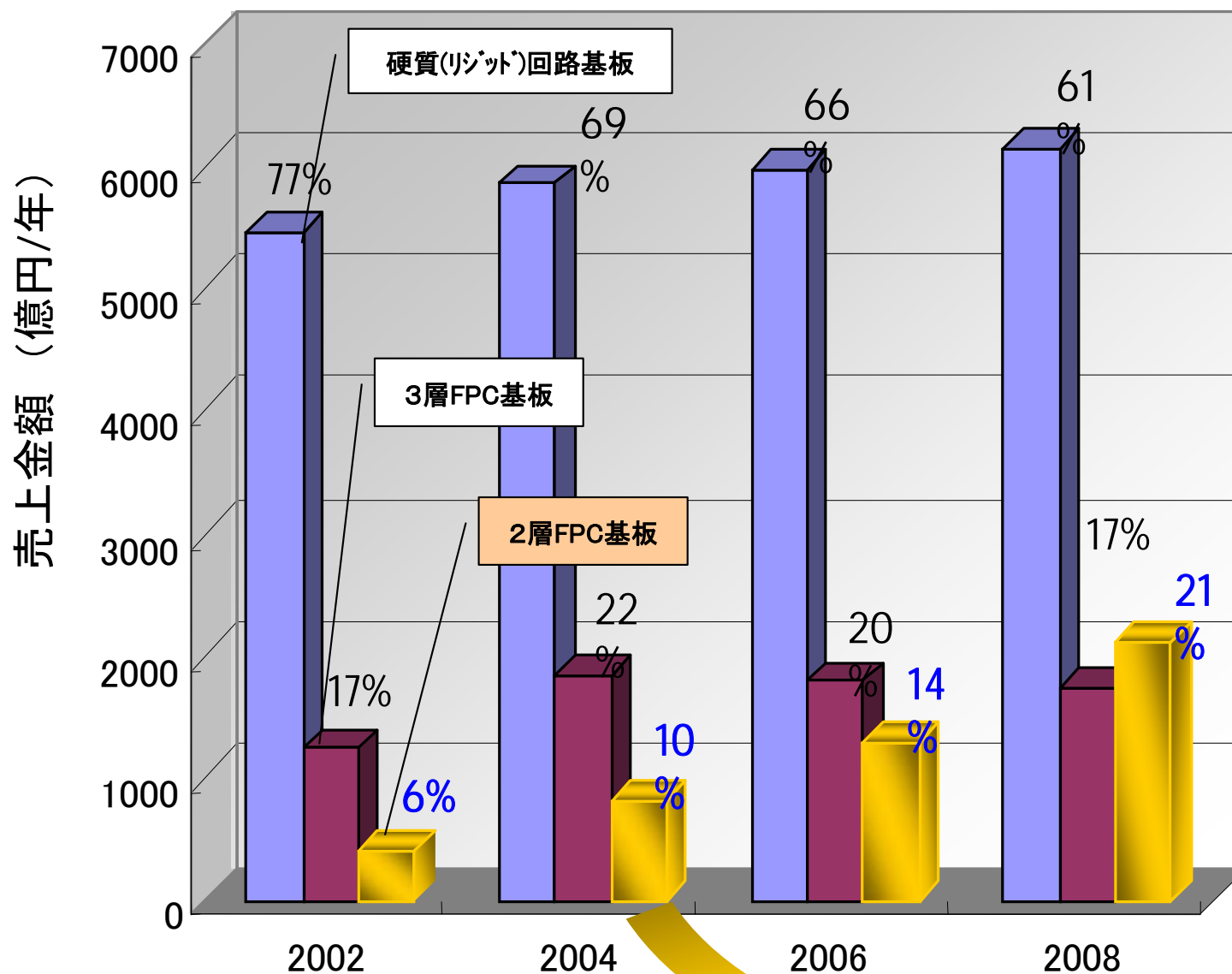


フルシグナルプリント基板(FPC)

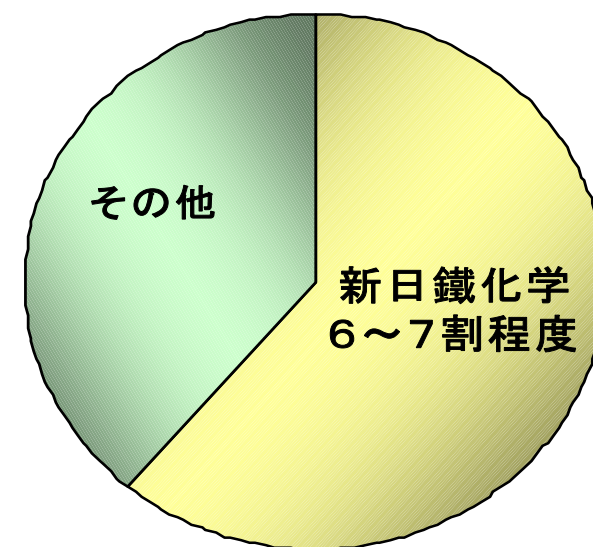
FPC

Flexible **P**rint **C**ircuit

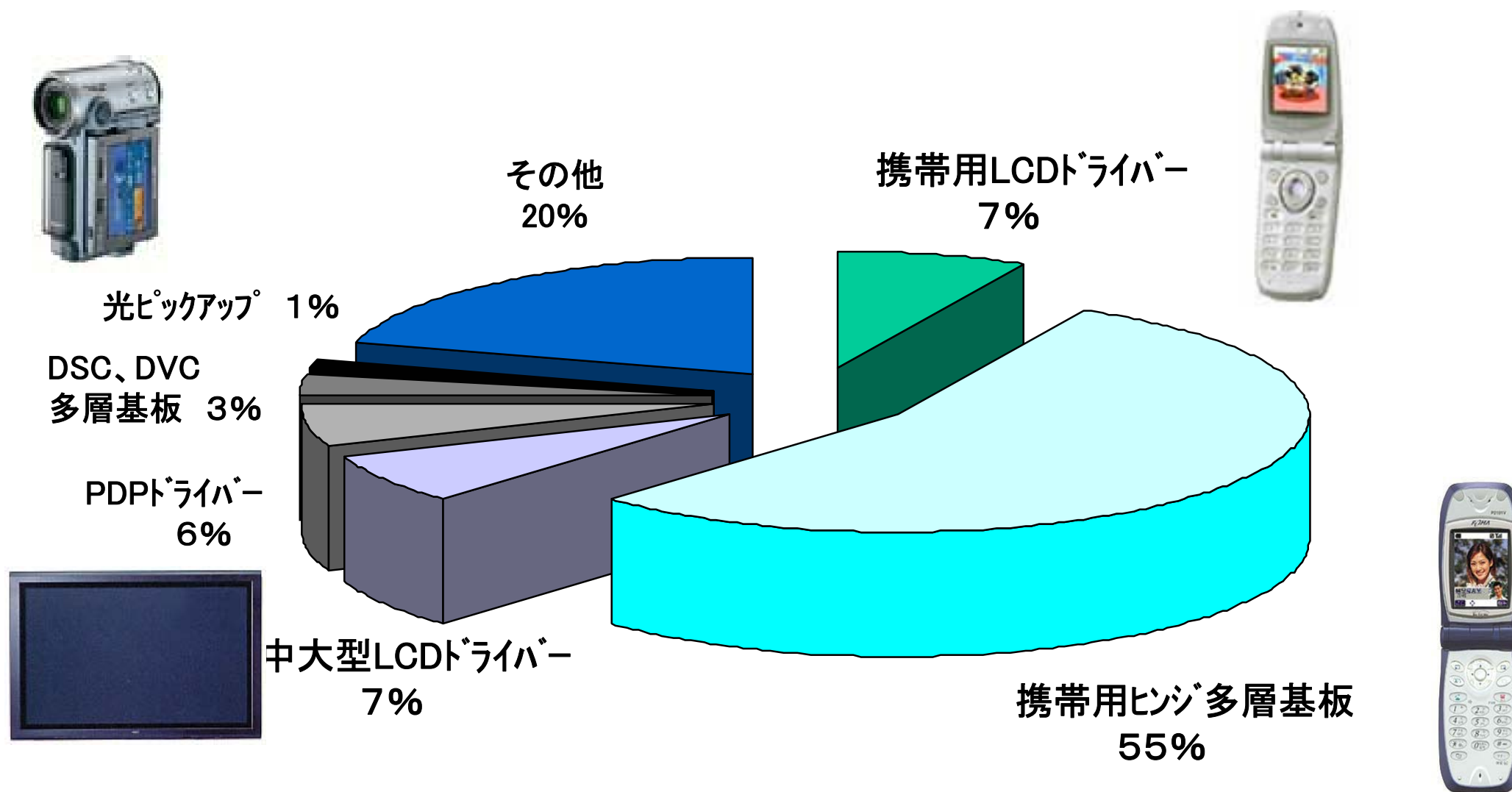
全世界の基板材料別回路基板 売上展望



2層CCL(2層FPC基板材料)
マーケットシェア



エスパネックス用途分野内訳(2003年実績)

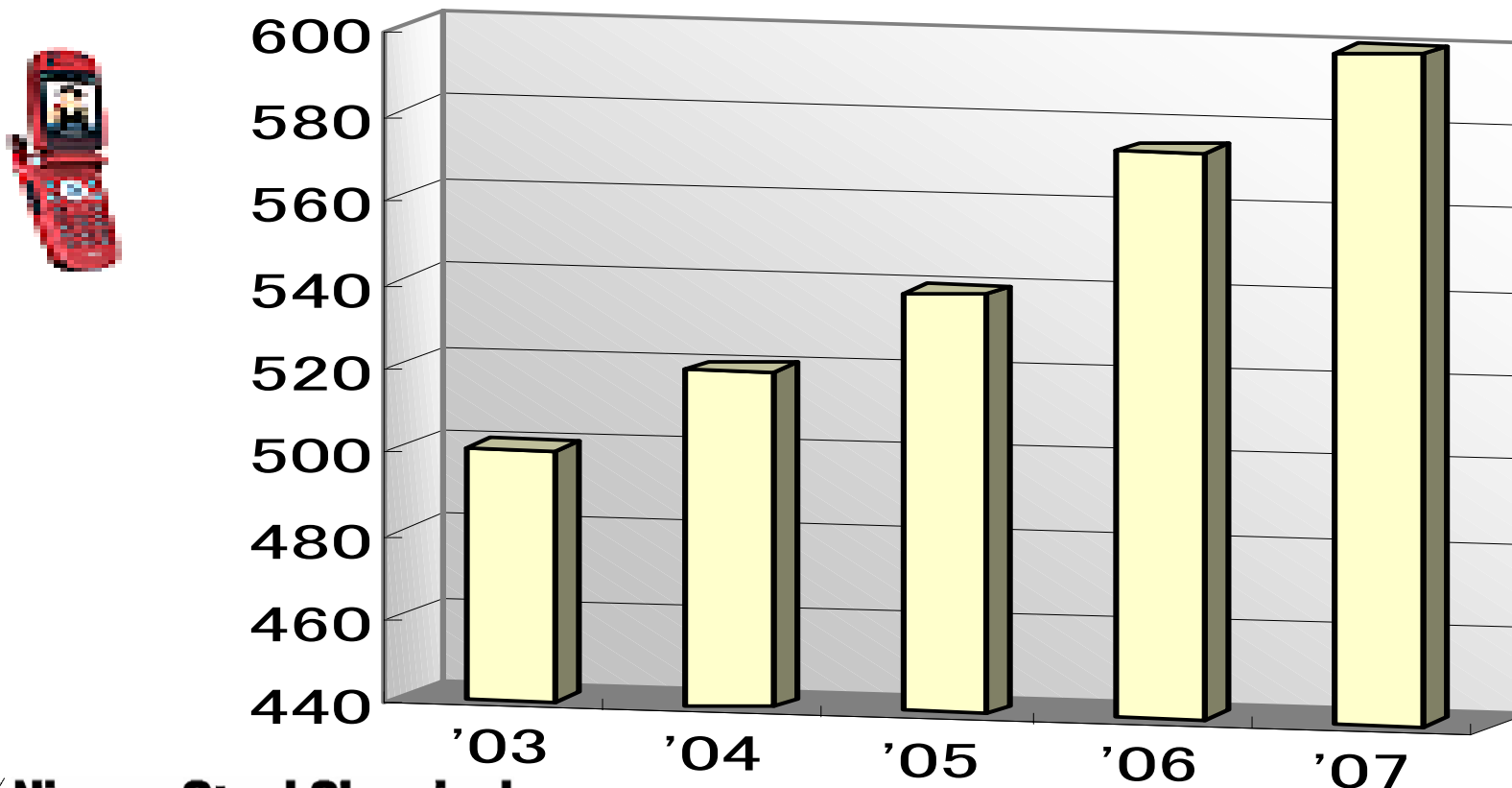


全世界の携帯電話 市場展望

- ・需要総計：インド、ロシア、東欧での需要増により堅調な成長見込
- ・買替需要：欧米、中国向け高機能端末投入、3G(※)端末浸透に期待

※3G…第三世代携帯。テレビ電話や動画などの高速・大容量の送受信ができることが特徴。

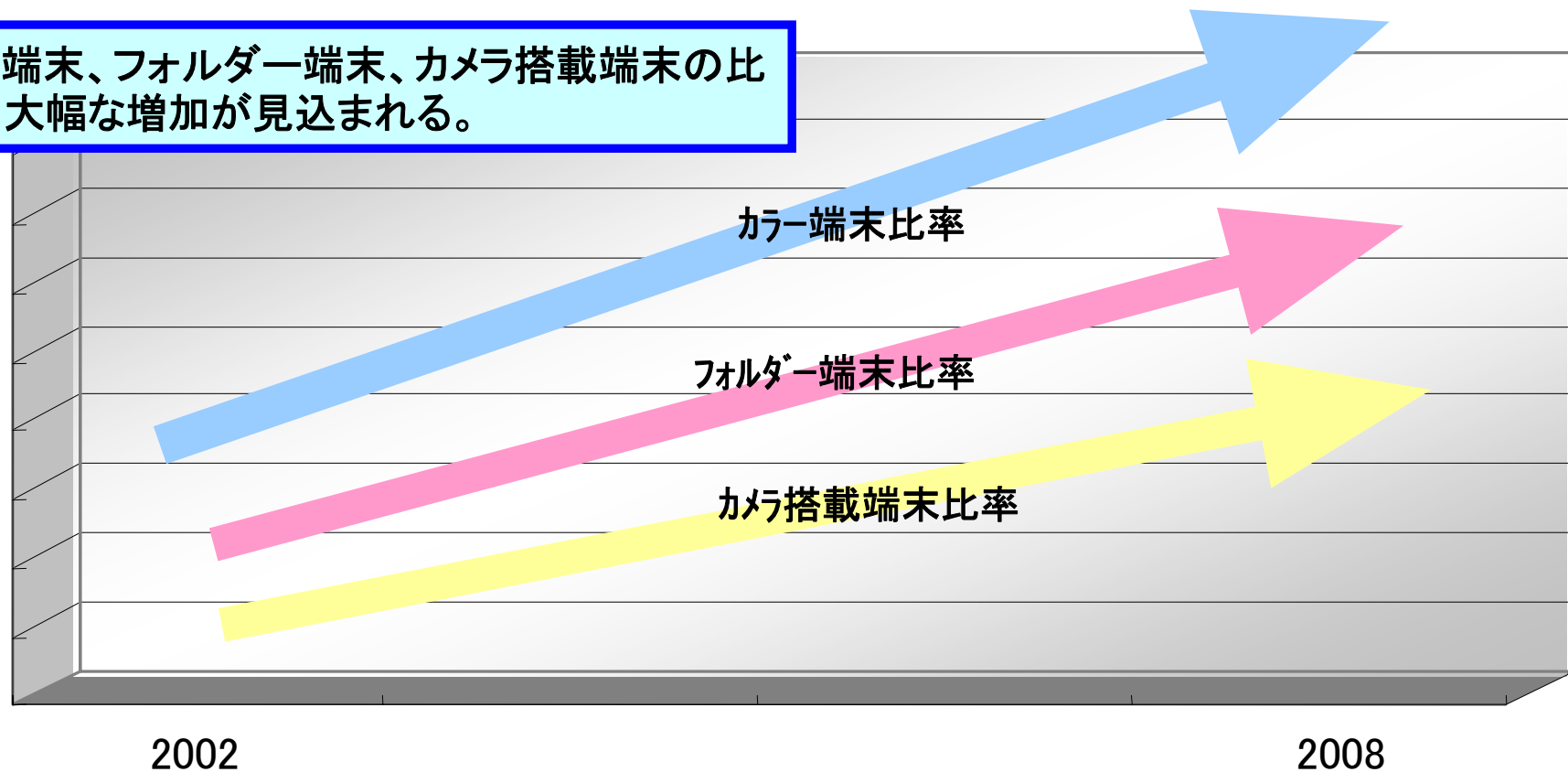
(百万台) 携帯電話 生産台数予測



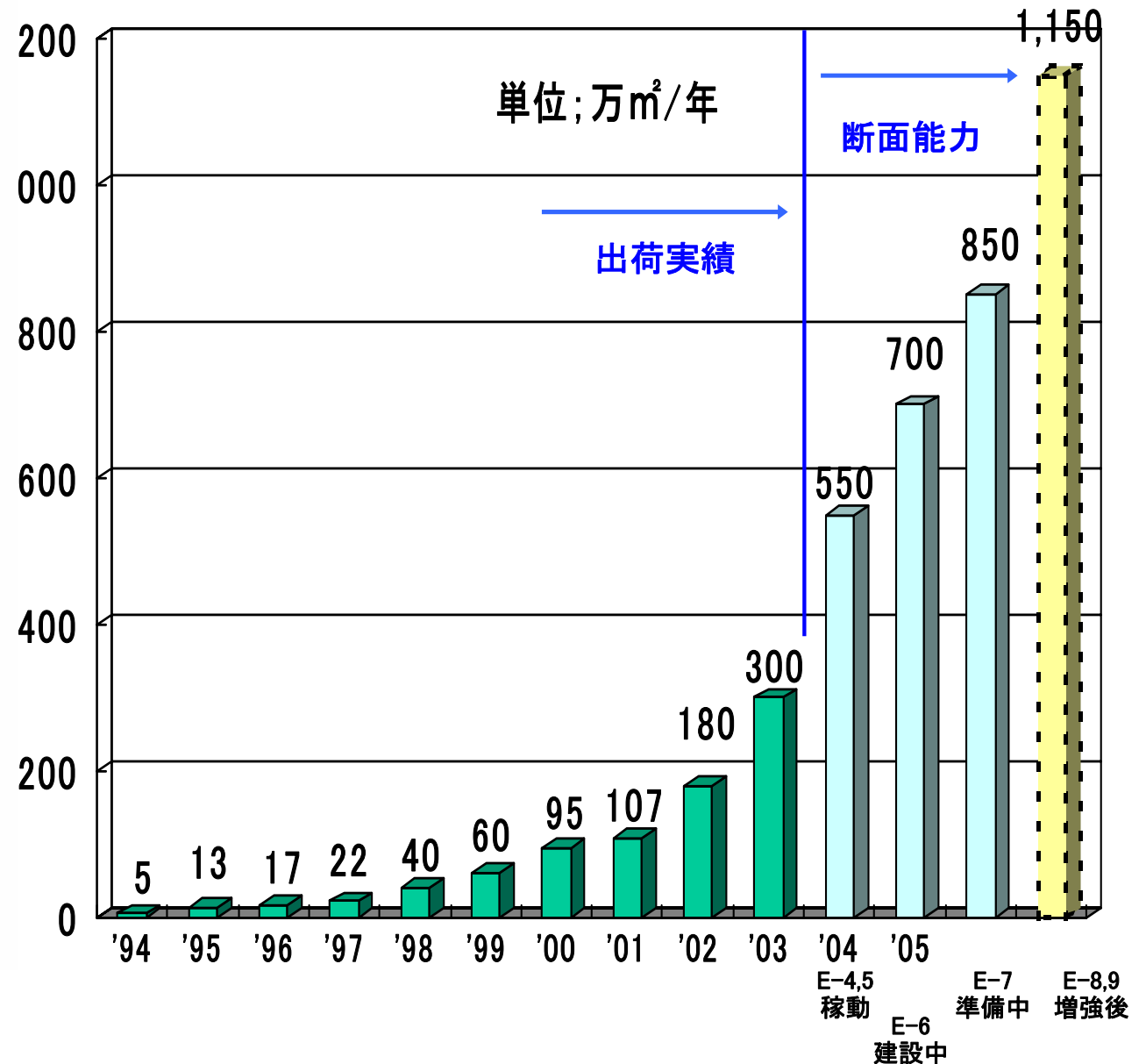
携帯電話 高機能化の進展

- ・カラー端末、フォルダー端末、カメラ搭載端末比率の増加により携帯電話の高機能化は今後さらに進展。
- ・上記に加え、液晶TV、電子決済機能、ナビゲーション等の機能付与が高機能化を加速。
- ・2層CCLへのニーズは携帯電話端末の高機能化に伴い更に拡大。

カラー端末、フォルダー端末、カメラ搭載端末の比率は、大幅な増加が見込まれる。



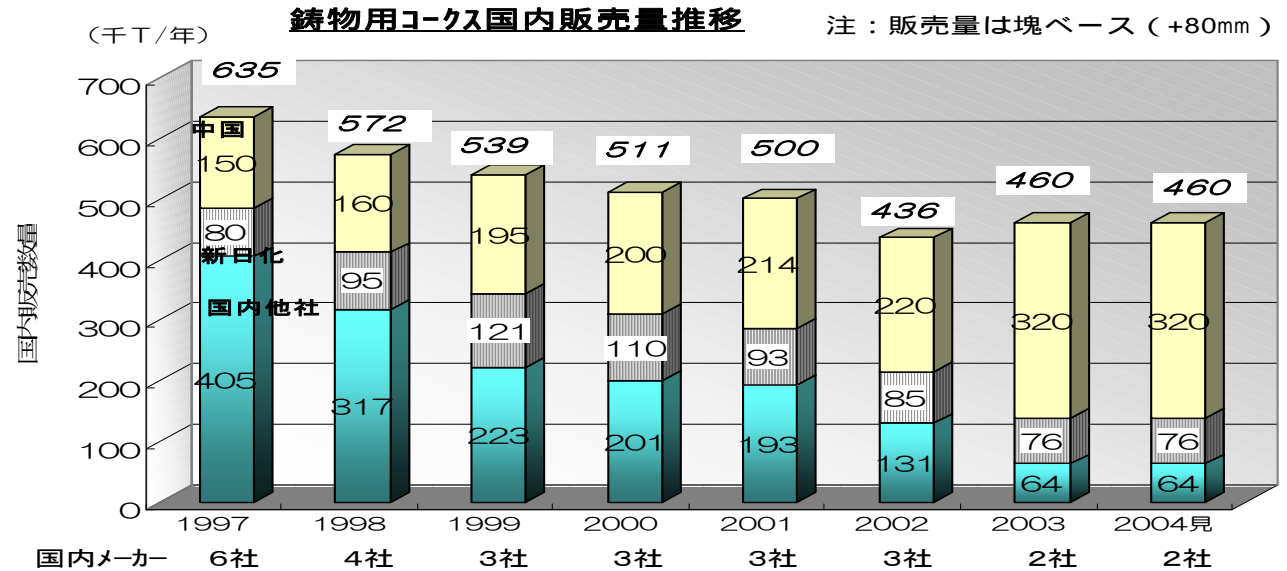
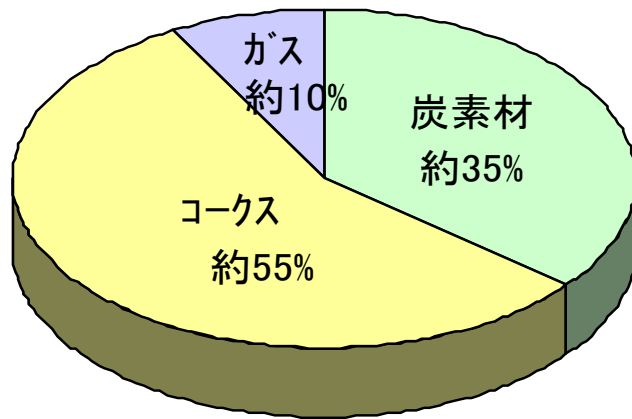
エスパネックス(CCL)販売数量、能力推移



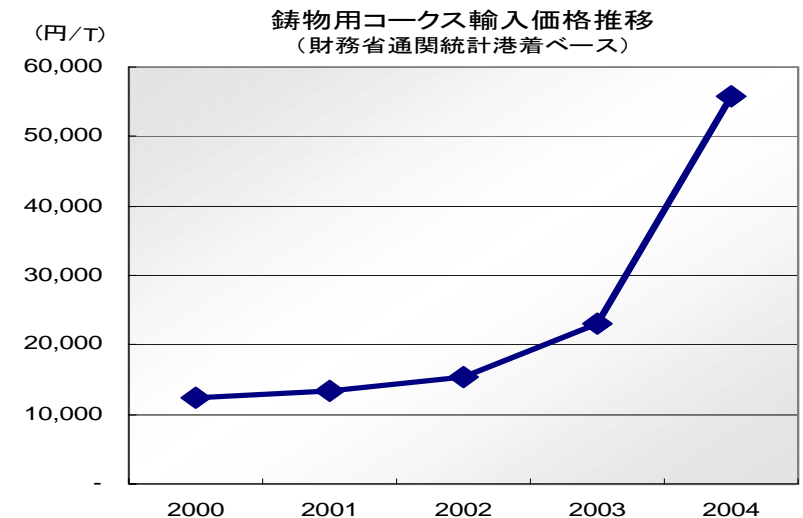
コールケミカル事業の概要

コールケミカル事業 連結売上高構成(2004年度見通し)

1,000億円程度



部門	主要製品	特 徴
コークス	高炉用コークス	新日鐵向け製造 年400万t
	鋳物用コークス	自動車メーカー向け他
炭素材	ピッチコークス、ピッチ	04年.10月 ㈱シーケム設立 (新日化65%、エア・ウォーター・ケミカル35%)
	洗淨油、ブラックオイル、クレオソート油	ナフタリン、無水フタル酸 日本1位、世界3位のタール蒸留メーカー
	タールファイン	04年.7月 エア・ウォーター・ケミカル(株)に譲渡
	特殊炭素材	03年.1月 新日本テクノカーボン(株) (新日化50%、日本カーボン50%)
ガス	カーボンブラック	新日化カーボン(株)
	酸素、窒素、アルゴン 水素、炭酸ガス	04年.10月 新日化エア・ウォーター(株)設立 (新日化35%、エア・ウォーター65%)



*2004年は1-6月実績

Ⅲ. 「グランドデザイン」について

「グランドデザイン」の概要

「グランドデザイン」とは、新日化が真のエクセレントカンパニーとなるために、2010年の姿を描き、進むべき方向を明らかにすべく、「目標とする企業像」、「戦略市場領域」及び「それを実現するための方策」を示すものである。

企業理念

新日鐵化学グループは、

- ・高度な化学技術を自ら育成、蓄積し、その活用により社会に貢献する。
- ・広く社会から信頼され尊敬を受ける社員で構成する。

目標とする企業像

- ・お客様のメリットを高めることができる独自商品を提案、提供できる会社
- ・その独自商品を連続して出しつづけることにより技術力を高く評価される会社
- ・世界一の商品を常に3つ以上もち、それで利益の1/3を出す会社
- ・環境、社会貢献でも胸をはれ、人材が競って集まる会社

「グランドデザイン」 財務・収益面での将来像

将来ビジョン（連結）

達成年度は2010年（6年後）

収益目標

経常利益 **300億円、ROS=10%以上**

電子情報分野での比率 **50% 以上**

（銅張積層板、ハードディスク関連材料、液晶表示用材料）

新規製品による経常利益 **20%**

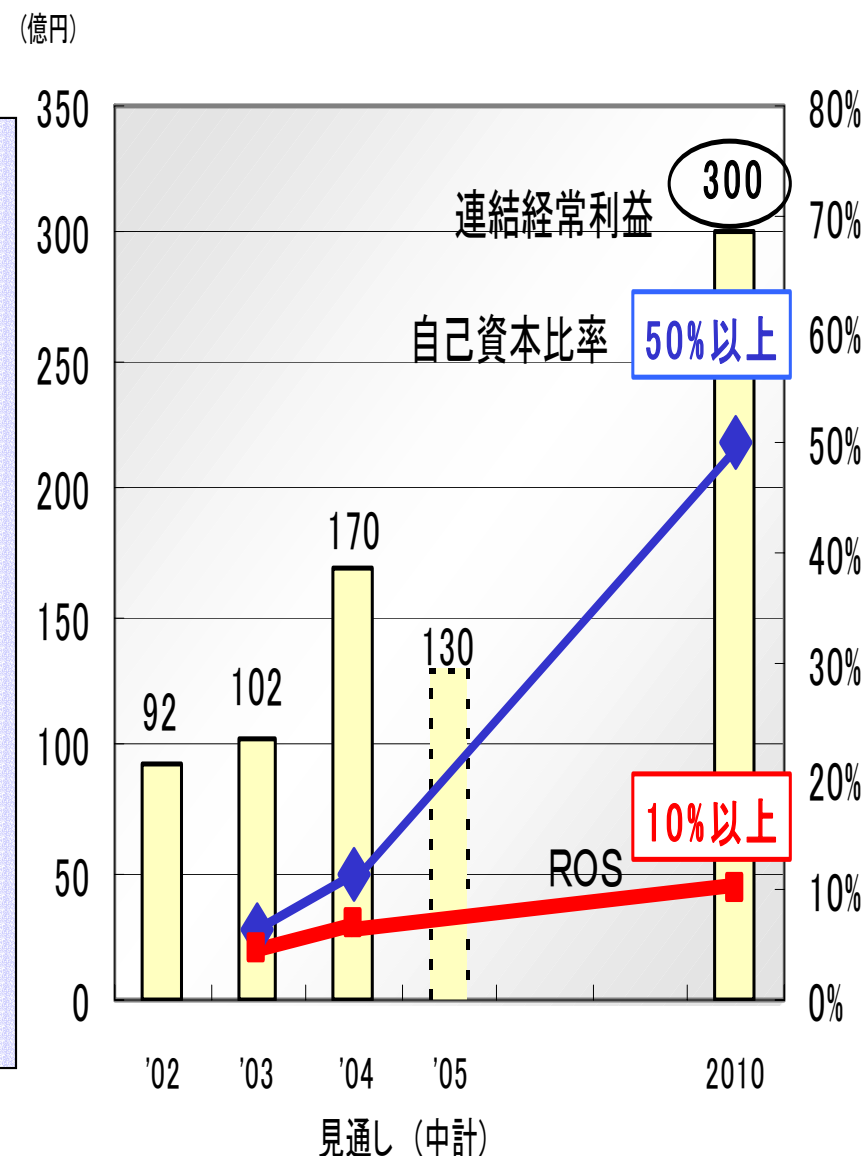
（有機EL関連材料、半導体実装材料、開発商品）

財務目標

自己資本比率 **50%**

社員の処遇

業界トップレベル



3～5年後に戦力化が期待される商品例

商品	用途	経常利益目標(2010年度)
有機EL用燐光材料	各種ディスプレイ	20億円
液晶用BM用材料	#5～#7世代	30億円
ガラス代替表示材料	各種ディスプレイ	30億円
HDD用サスペンション材料	HDD	20億円

「グランドデザイン」 事業展開マップ

- ・蓄積した化学技術に基づき、「情報・電子材料市場」に資源を傾斜投入。
- ・「選択と集中」を一層推進。利益率の低い事業から高い事業へのシフトを日常化。

